

# 日本農業労災学会 Newsletter

## 第14号(No.14) 2020年9月1日発行

●発行：日本農業労災学会事務局

〒184-0004 東京都小金井市本町1丁目6番2号

メゾン・ド小金井301

麒麟社会保険労務士事務所内

電話番号 042-316-6420/FAX 042-316-6430

E-mail : kuroda@kirin-office.com

ホームページ : <http://jfapr.jp/>

会員各位

日本農業労災学会

会 長

北田紀久雄

第7回大会実行委員長 平野 繁

## 2020年度（第7回）シンポジウムの開催について

平素より学会活動につきましては、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、第7回シンポジウムについての開催概要がまとまりましたので、ご案内をさせていただきます。今回のシンポジウムは、今般の新型コロナウイルス感染拡大のため、予定していた東京農業大学厚木キャンパスが使用できなくなり、Zoomを使ったオンライン開催とさせていただきますことになりました。そのため、パソコンやスマホなどでZoomを利用できる通信環境が必要ですが、お時間が合えば、遠方でも参加・聴講が可能です。多くの会員の皆様にご参加いただけますようご案内申し上げます。

## 2020年度（第7回）シンポジウム開催概要

1. 開催日時：2020年10月23日（金） 13:00～17:10

2. 会 場：オンライン開催（Zoom利用による）

3. 主催団体：日本農業労災学会・東京農業大学総研研究会3研究部会

（労災対策研究部会・就農者推進教育研究部会・農業協同組合研究部会）

#### 4. 後援団体：JA 連合組織、JA 単協など

##### ■第7回シンポジウムのテーマ

「農業者・農協等関係団体の連携強化による  
農業労働安全・労災補償対策の実践—GAPを中心に—」

##### ■開催趣旨・ねらい

年間300件を超える農作業による死亡事故の撲滅は農家・関係者の悲願である。しかし、農業生産者、国、都道府県、市町村、農業団体の懸命の農作業事故防止対策の取り組みによっても、なかなか事故が減らないのが実態である。確かに、他産業に比較して一人親方で組織的な事故防止対策の実践が難しいこと、高齢農家の増大、しかも危険を伴う環境の下での多様な作業の実践という農業特有の条件が、事故防止対策の実施を難しくしている。

そのため、事故防止のための具体的・効果的な対策、法的な枠組みを作ることができず、行政・農協の取り組みも十分とはいえない。本学会では昨年度のシンポジウムで、GAP導入の3つの目的の1つである「安全な労働環境の整備」を如何に実現して農作業事故を防止するかが、高齢化と企業化が並進している農業現場における重要な課題であると考え、GAPと農作業安全の取り組みを組織的・戦略的に実践できる方法について検討した。今年度は、さらに前年度のシンポジウムの成果を踏まえて、GAPも一つの方法として含む有効性が高い農業者・農協等関係者の連携強化による農業労働安全・労災補償対策の実践の実践方法について検討を進めたいと考えている。

#### 5. プログラム

- |   |             |
|---|-------------|
| 1) オンライン大会入室開始  | 12:00～      |
| 2) 開会・挨拶： 学会会長・北田紀久雄  | 13:00～13:05 |
| 3) 座長解題： 緒方 大造（日本農業新聞 論説委員）<br>平野 繁（東京農業大学 准教授）   | 13:05～13:15 |
| 4) 基調報告（各20分、報告者の交代・画面の切り替えを含めて22分）   |             |
| 第1報告 農業分野における農業者・関係者参加型の労働災害防止の方法<br>—GAPを中心に—<br>門間 敏幸（東京農業大学名誉教授、前学会長）                        | 13:15～13:37 |
| 第2報告 グローバルGAPの団体認証取得によるプロッコリーのブランド化と<br>労働安全対策について<br>菅野 史拓（岩手県宮古農業改良普及センター）                    | 13:37～13:59 |
| 第3報告 女性農業者との農業機械開発と安全対策<br>野口 貴弘（井関農機株式会社 販売企画推進部）  | 13:59～14:21 |
| <休憩>  | 14:21～14:30 |
| 第4報告 JAたじま「コウノトリ育むお米」のグローバルGAPの取り組みについて<br>—ブランド化、労働安全対策を含む—<br>谷垣 康（兵庫県JAたじま 但東営農生活センター センター長） | 14:30～14:52 |

第5報告 農業労働安全拡充・労災補償対策のための社労士による参加型取り組み

	14:52~15:14
中村 雅和 (いのしし社会保険労務士事務所 所長)	
6) コメント (各5分、交代時間を含めて6分)	15:14~15:40
コメンター1 安江 紘幸 (農研機構 東北農業研究センター 主任研究員)	
コメンター2 武田 敏幸 (JA全農 耕種総合対策部 GAP推進課 課長)	
コメンター3 木山 恭子 (社会保険労務士法人たんぽぽ会 所長)	
コメンター4 宮永 均 (JAはだの 専務理事)	
<休憩>	15:40~15:50
7) 全体討論 (40分)	15:50~16:30
8) 座長総括	16:30~16:40
9) 個別報告 (25分) (※報告者がいる場合、質疑含む)	16:40~17:05
<u>※個別報告がない場合、以下は繰り上げる。</u>	
10) 閉会の挨拶 (副会長：堀内 政徳)	17:05~17:10
11) オンライン大会終了	17:10

6. 参加費等・申込み手続き

1) 参加費等

- (1) シンポジウム参加費： 2,000 円
- (2) 不参加のため資料送付を希望の場合の代金：2,000 円 (送料込)

2) 申込み手続き

(1) 申込期限と申込み先

①個別研究報告を受け付けております。

ご希望の方は、氏名・所属・連絡先住所・電話・E-mail・研究報告の題目並びに報告要旨(1000文字以内)を9月25日(金)必着で、学会事務局(1ページ扉参照)並びに下記の半杭真一大会実行副委員長宛(E-mail: sh206187@nodai.ac.jp)にお申し込みください。

②シンポジウム参加等をご希望の方は、オンライン開催の案内や報告資料作成の準備がございますので、9月25日(金)必着で同封の返信用ハガキの該当欄に○印をご記入の上、お送りください。

(お願い) 返信用ハガキにメールアドレスの記入がない場合、オンライン参加に必要な情報メールの送信が出来ませんので、必ずご記入ください。また、大会要旨集は返信ハガキに記載された住所に郵送させていただきますので、ご了承ください。

(2) 参加費等は、同封の郵便振替票の該当欄に○印を付けて金額をご記入の上、10月9日(金)までに振込みをお願いします。

3) オンライン開催までの主なプロセス

(1) シンポジウム参加申込みの確認後、9月28日(月)より、参加者に対して、順次、メールにてオンライン開催におけるZoom接続のためのURL等をご案内いたします。

(2) 次に、10月9日(金)までに参加費の送金をいただいた参加者には、10月12日(月)以降に大会要旨集を郵送させていただきます。従いまして、期日まで送金がなされなかった場合には、大会要旨集は大会終了後の郵送となりますので、ご注意ください。

(3) なお、シンポジウムには参加できないが、大会要旨集を希望する場合には、返信ハガキでその旨ご回答をいただくと共に、大会要旨集代2000円を10月9日(金)まで送金ください。大会終了後、10月26日(月)以降に郵送させていただきます。

## 7. 大会事務局、問合せ先

本シンポジウムについての問合せは、下記までお願いいたします。

- 大会実行委員長 東京農業大学農学部農学科 平野 繁  
TEL 046-270-6518 E-mail s-hirao@nodai.ac.jp
- 大会実行副委員長 東京農業大学国際食料情報学部国際バイオビジネス学科 半杭 真一  
TEL 03-5477-2771 E-mail sh206187@nodai.ac.jp
- 学会事務局 1 ページの扉参照

以 上